




# OptiPlex 7040M オーナーズマニュアル

規制モデル : D10U  
規制タイプ : D10U001



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell、および Dell のロゴは、米国および / またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 07

Rev. A03

# 目次

<b>1 コンピュータ内部の作業</b> .....	<b>5</b>
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	5
コンピュータの電源を切る.....	5
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	5
<b>2 コンポーネントの取り外しと取り付け</b> .....	<b>6</b>
推奨ツール.....	6
カバーの取り外し.....	6
カバーの取り付け.....	6
ハードドライブアセンブリの取り外し.....	7
ハードドライブブラケットからのハードドライブの取り外し.....	7
ハードドライブブラケットへのハードドライブの取り付け.....	8
ハードドライブアセンブリの取り付け.....	8
VGA ボードの取り外し.....	8
VGA ボードの取り付け.....	9
システムファンの取り外し.....	9
システムファンの取り付け.....	10
メモリモジュールの取り外し.....	10
メモリモジュールの取り付け.....	10
ヒートシンクの取り外し.....	11
ヒートシンクの取り付け.....	11
プロセッサの取り外し.....	11
プロセッサの取り付け.....	12
スピーカーの取り外し.....	12
スピーカーの取り付け.....	13
コイン型電池の取り外し.....	13
コイン型電池の取り付け.....	14
システム基板の取り外し.....	14
システム基板の取り付け.....	15
システム基板のレイアウト.....	16
<b>3 互換性のあるモニターモデルのリスト</b> .....	<b>17</b>
<b>4 コンピュータのトラブルシューティング</b> .....	<b>19</b>
診断電源 LED コード.....	19
診断エラーメッセージ.....	20
システムエラーメッセージ.....	23
<b>5 セットアップユーティリティ</b> .....	<b>25</b>
起動順序.....	25
ナビゲーションキー.....	25



セットアップユーティリティの概要.....	26
セットアップユーティリティへのアクセス.....	26
セットアップユーティリティのオプション.....	26
BIOS のアップデート .....	33
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	34
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	34
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	35
<b>6 仕様.....</b>	<b>36</b>
<b>7 デルへのお問い合わせ.....</b>	<b>40</b>

# コンピュータ内部の作業

## コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります (「[コンピュータの電源を切る](#)」を参照)。

**△ 注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
4. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
6. カバーを取り外します。

**△ 注意:** コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

## コンピュータの電源を切る

## コンピュータ内部の作業を終えた後に

取り付け手順が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルが接続されていることを確認してください。

1. カバーを取り付けます。

**△ 注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。
3. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。
5. 必要に応じて **Dell 診断プログラム** を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します。

## コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピュータからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。


### 推奨ツール

本マニュアルの手順には以下のツールが必要です。

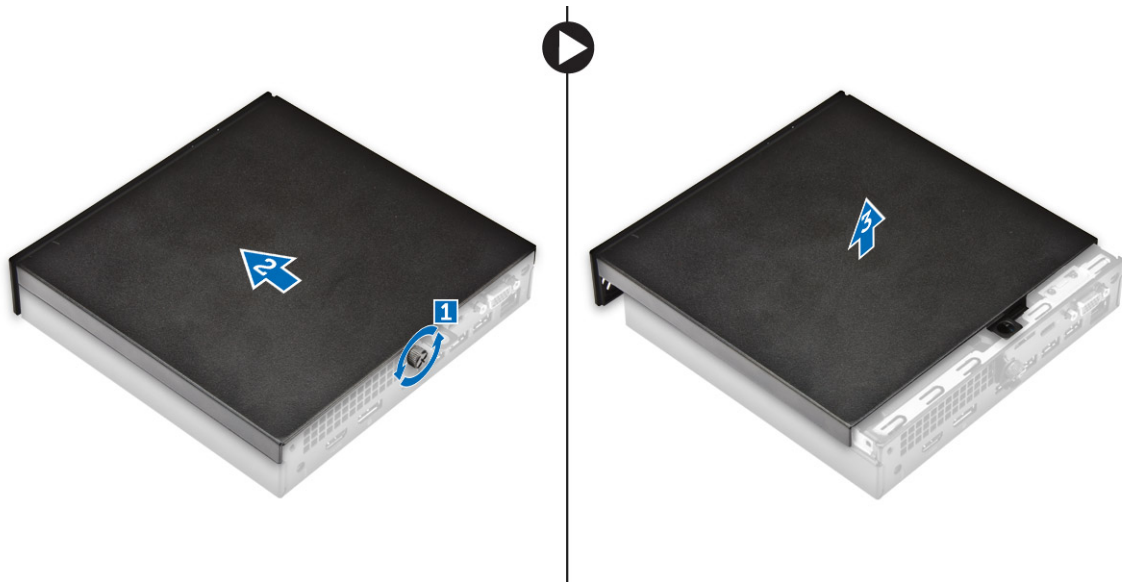
- 小型のマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

### カバーの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. カバーを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. カバーをコンピュータに固定している拘束ネジを緩めます [1]。
  - b. カバーをスライドさせて、コンピュータから外します [2]。

 **メモ:** カバーをエッジから外す際に、プラスチックスクライブが必要な場合があります。

  - c. カバーを持ち上げてコンピュータから取り外します [3]。



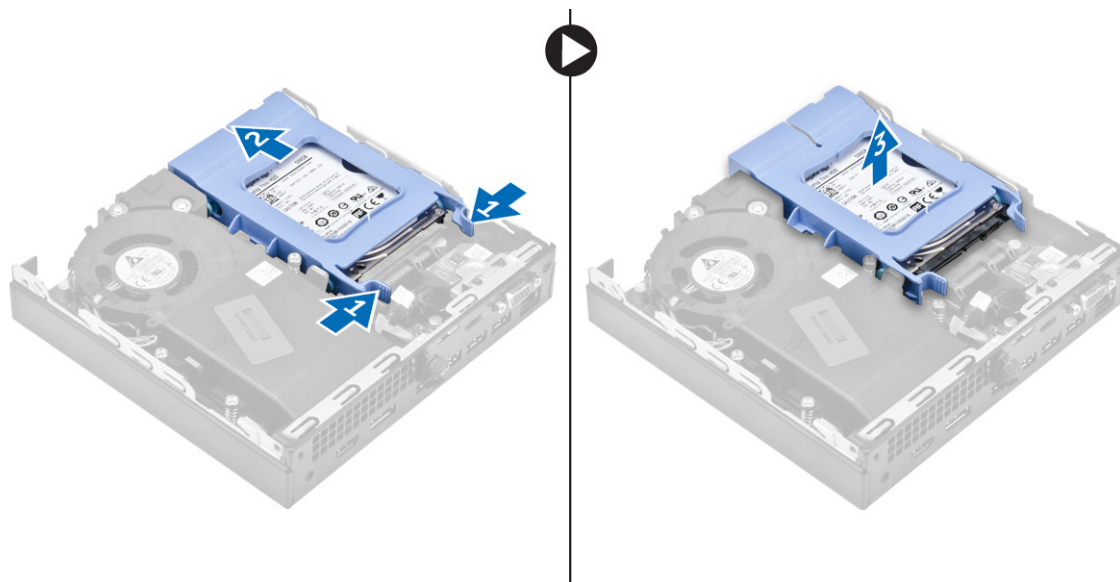
### カバーの取り付け

1. コンピュータにカバーをセットします。
2. カバーをコンピュータの背面方向にスライドさせて取り付けます。
3. ネジを締めてカバーをコンピュータに固定します。

4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

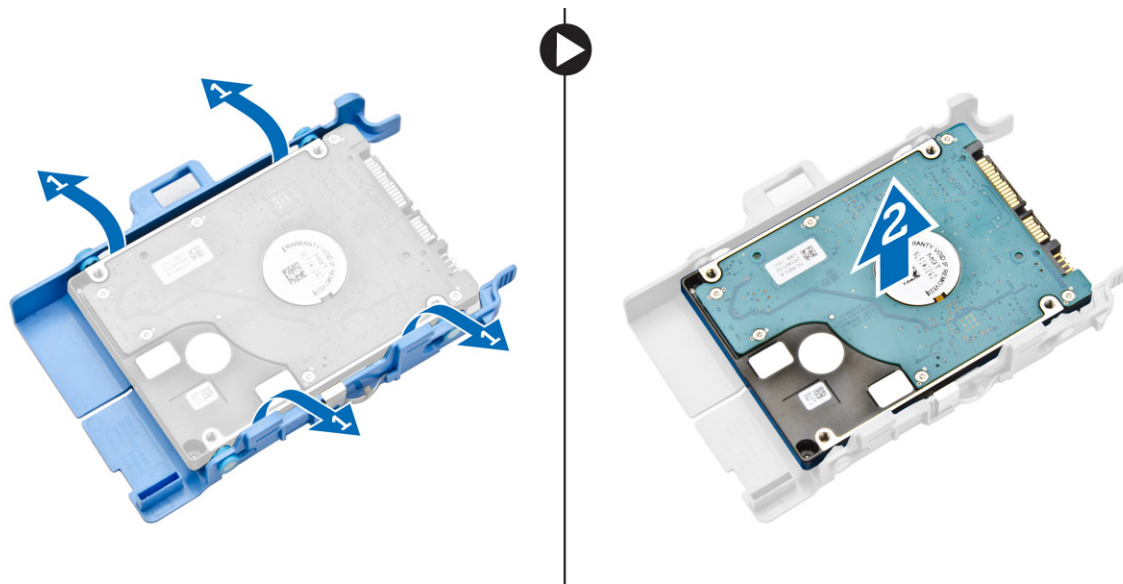
## ハードドライブアセンブリの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [カバー](#)を取り外します。
3. ハードドライブアセンブリを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. ハードドライブアセンブリをの両側にある青色のタブを押します [1]。
  - b. ハードドライブアセンブリを押して、コンピュータから外します [2]。
  - c. ハードドライブアセンブリを、コンピュータから取り外します [3]。



## ハードドライブブラケットからのハードドライブの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [カバー](#)
  - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
3. ハードドライブブラケットを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. ハードドライブブラケットの片側を引いて、ブラケットのピンをハードドライブのスロットから外します [1]。
  - b. ハードドライブを持ち上げてハードドライブブラケットから取り外します [2]。



## ハードドライブブラケットへのハードドライブの取り付け

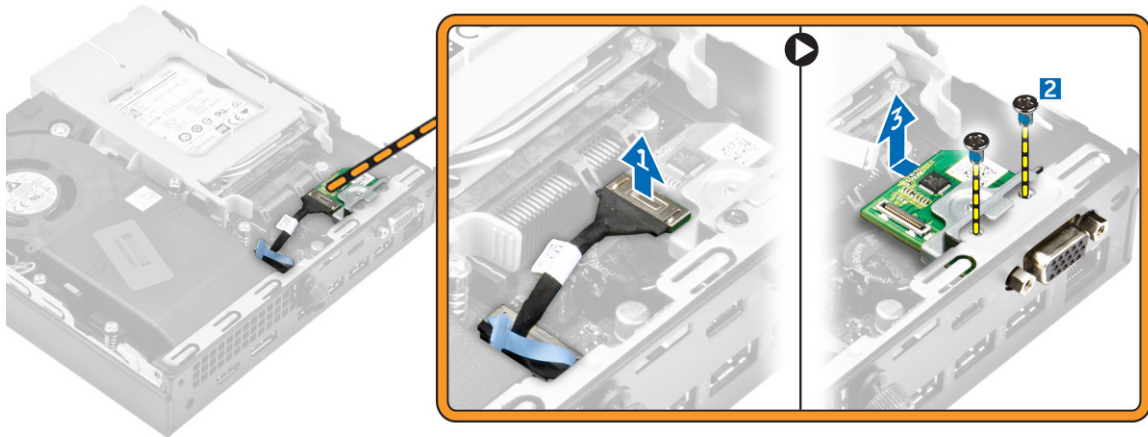
1. ハードドライブブラケットのピンを、ハードドライブの片側のスロットに合わせて挿入します。
2. ハードドライブブラケットのもう一方の側を曲げ、ブラケットのピンをハードドライブに合わせて挿入します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - b. [カバー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ハードドライブアセンブリの取り付け

1. ハードドライブアセンブリをコンピュータのスロットに差し込みます。
2. ハードドライブアセンブリをカチッと所定の位置に収まるまでコネクタの方向にスライドさせます。
3. [カバー](#)を取り付けます。
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## VGA ボードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [カバー](#)を取り外します。
3. VGA ボードを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. VGA ボードケーブルを VGA ボードのコネクタから外します [1]。
  - b. VGA ボードをコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
  - c. VGA ボードをスライドさせてスロットからコネクタを外し、持ち上げてコンピュータから取り外します [3]。

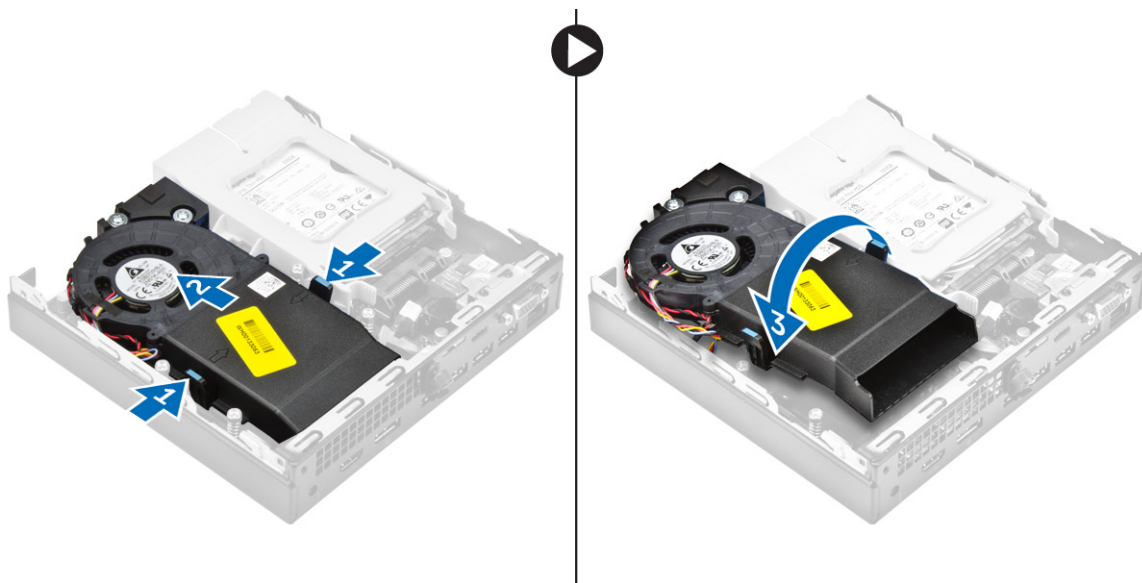


## VGA ボードの取り付け

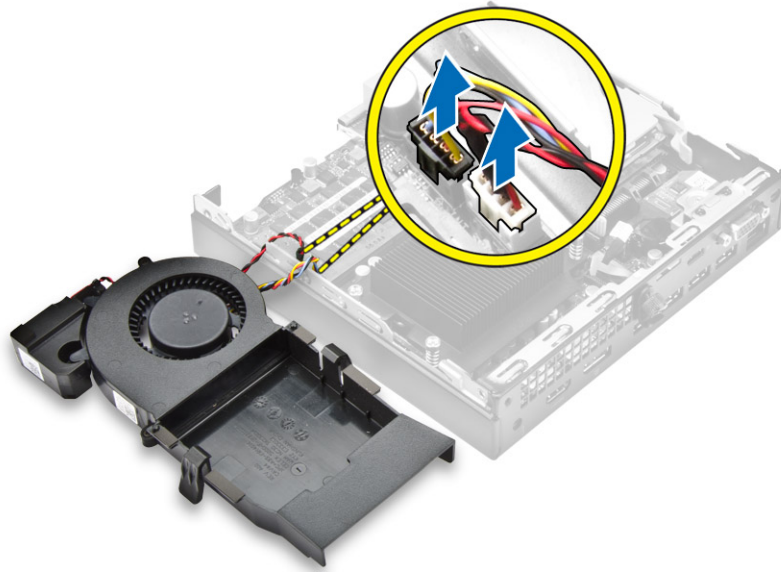
1. VGA コネクタをコンピュータのスロットに合わせて挿入します。
2. ネジを締めて VGA ボードをコンピュータに固定します。
3. VGA ボードケーブルを VGA ボードのコネクタに接続します。
4. [カバー](#)を取り付けます。
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## システムファンの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [カバー](#)を取り外します。
3. システムファンを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. システムファンの両側にある青色のタブを押します [1]。
  - b. システムファンを押してコンピュータから外します [2]。
  - c. システムファンを裏返してコンピュータから取り外します [3]。



4. スピーカーケーブルとシステムファンケーブルをシステム基板のコネクタから外します。

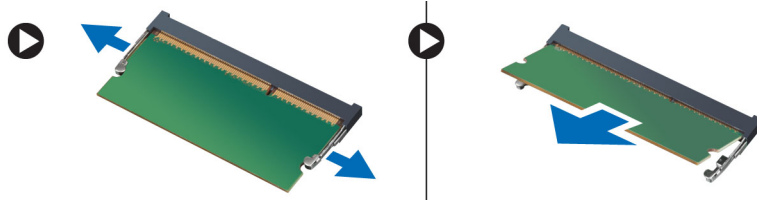


## システムファンの取り付け

1. スピーカーケーブルとシステムファンケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
2. システムファンをコンピュータにセットし、システムファンをカチッと所定の位置に収まるまでスライドさせます。
3. [カバー](#)を取り付けます。
4. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## メモリモジュールの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [カバー](#)
  - b. [システムファン](#)
3. メモリモジュールが持ち上がるまで固定クリップをメモリモジュールから引きます。
4. メモリモジュールをシステム基板のソケットから取り外します。

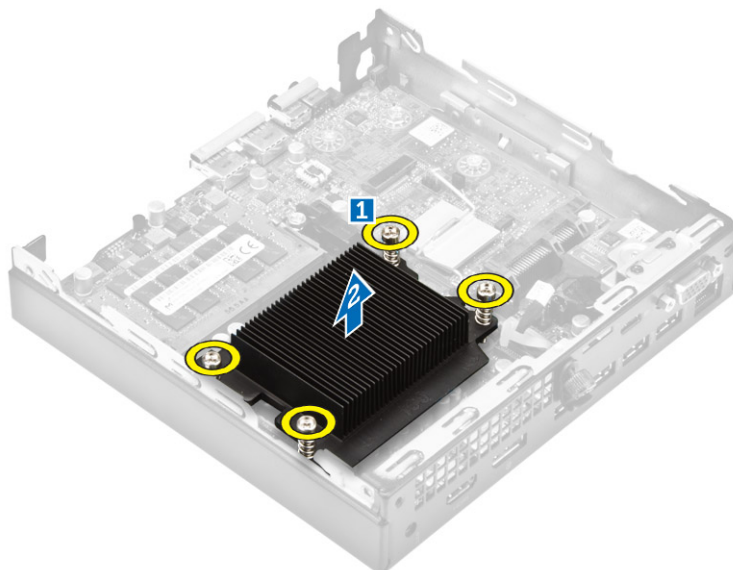


## メモリモジュールの取り付け

1. メモリモジュールの切り込みをメモリモジュールコネクタのタブに合わせます。
2. メモリモジュールをメモリモジュールソケットに挿入し、カチッと所定の位置に収まるまで押し込みます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システムファン](#)
  - b. [カバー](#)
4. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## ヒートシンクの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [カバー](#)
  - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - c. [システムファン](#)
3. ヒートシンクを取り外すには、次の手順を行います。
  - a. ヒートシンクをコンピュータに固定している拘束ネジを緩めます [1]。
  - b. ヒートシンクを持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。



## ヒートシンクの取り付け

1. ヒートシンクをプロセッサの上に置きます。
2. ヒートシンクをシステム基板に固定する拘束ネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システムファン](#)
  - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - c. [カバー](#)
4. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## プロセッサの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [カバー](#)
  - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - c. [システムファン](#)
  - d. [ヒートシンク](#)
3. プロセッサを取り外すには：
  - a. レバーを押し下げてプロセッサシールドのタブの下からソケットレバーを外します [1]。



- b. レバーを持ち上げて、プロセッサシールドを持ち上げます [2]。

**△ 注意:** プロセッサソケットピンは壊れやすく、損傷して修復できなくなることがあります。プロセッサをソケットから取り外す際には、プロセッサソケットのピンを曲げないように気をつけてください。

- c. プロセッサを持ち上げて、ソケットから外します [3]。

**メモ:** プロセッサを取り外したら、再利用、返品、または一時的な保管のために、静電気防止容器に入れます。接触による損傷を防ぐため、プロセッサの底部に触れないでください。プロセッサは側面の端以外に触れないでください。



## プロセッサの取り付け

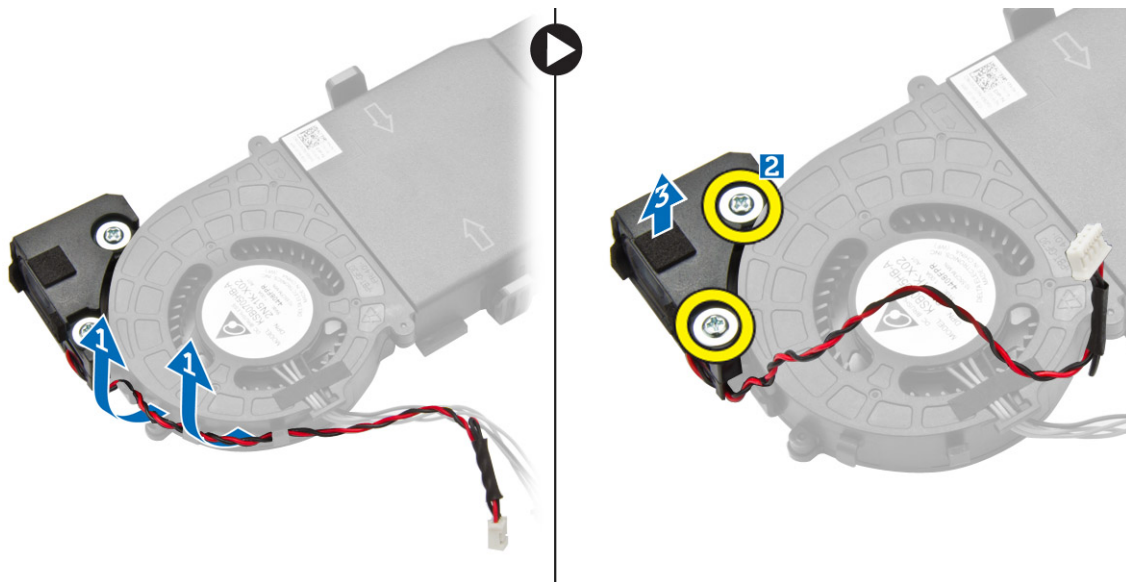
1. プロセッサをソケットキーに合わせます。

**△ 注意:** プロセッサを無理に押し込まないでください。プロセッサの位置が合っていれば、簡単にソケットに入ります。

2. プロセッサのピン 1 インジケータをソケットの三角形に揃えます。
3. プロセッサのソケットがソケットキーに合うように、プロセッサをソケットに置きます。
4. プロセッサシールドを固定ネジの下にスライドさせて閉じます。
5. ソケットレバーを下げてタブの下に押し込んでロックします。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ヒートシンク](#)
  - b. [システムファン](#)
  - c. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - d. [カバー](#)
7. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## スピーカーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [カバー](#)
  - b. [システムファン](#)
3. スピーカーを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. スピーカーケーブルをシステムファンの固定フックから外します [1]。
  - b. スピーカーをシステムファンに固定しているネジを外します [2]。
  - c. スピーカーをシステムファンから取り外します [3]。

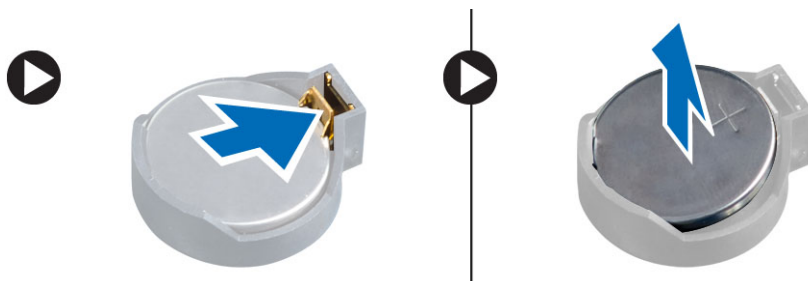


## スピーカーの取り付け

1. スピーカーのスロットをシステムファンのスロットに合わせます。
2. ネジを締めてスピーカーをシステムファンに固定します。
3. スピーカーケーブルをシステムファンの固定フックを通して配線します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システムファン](#)
  - b. [カバー](#)
5. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## コイン型電池の取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - [カバー](#)
  - [ハードドライブアセンブリ](#)
  - [VGA ボード](#)
3. コイン型電池を取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. コイン型電池が外れるまで、リリースラッチを押します。
  - b. コイン型電池をシステム基板から取り外します。

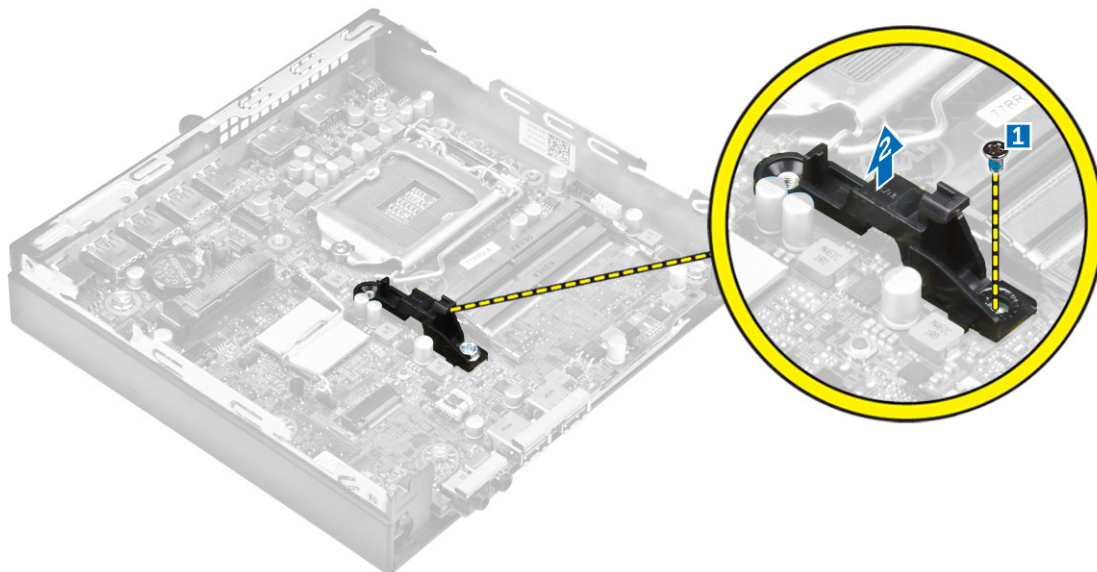


## コイン型電池の取り付け

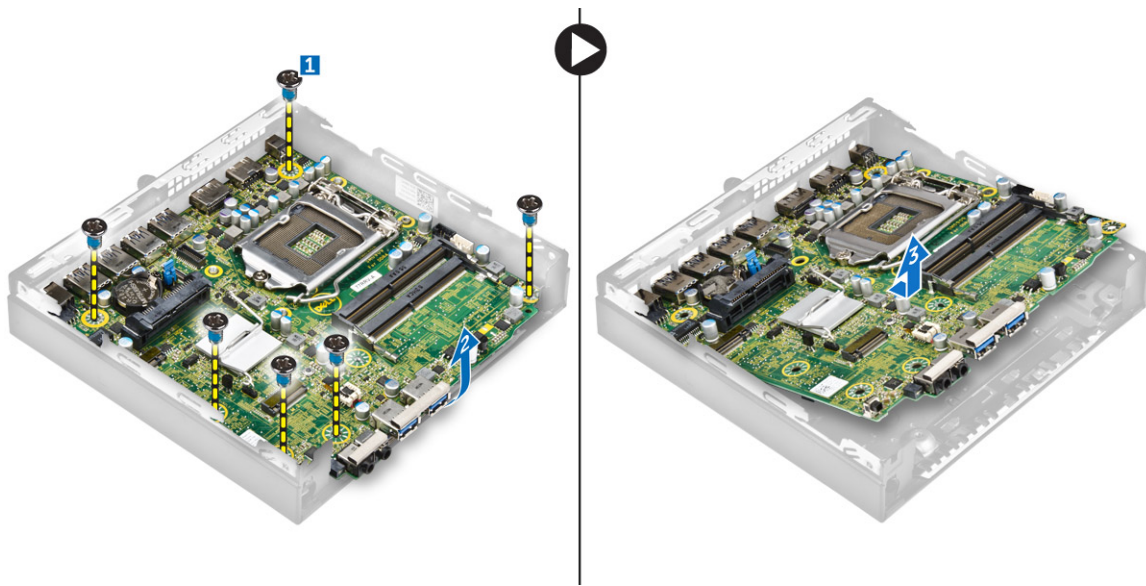
1. コイン型電池の ( + ) 記号側を上に向け、コネクタのプラス側にある固定タブの下に挿入します。
2. 所定の位置にロックされるまでバッテリーをコネクタに押し込みます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [VGA ボード](#)
  - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - c. [カバー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## システム基板の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [カバー](#)
  - b. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - c. [VGA ボード](#)
  - d. [システムファン](#)
  - e. [ヒートシンク](#)
  - f. [プロセッサ](#)
3. プラスチック製のタブを取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. プラスチック製のタブをシステム基板に固定しているネジを外します [1]。
  - b. プラスチック製のタブを持ち上げてシステム基板から取り外します [2]。



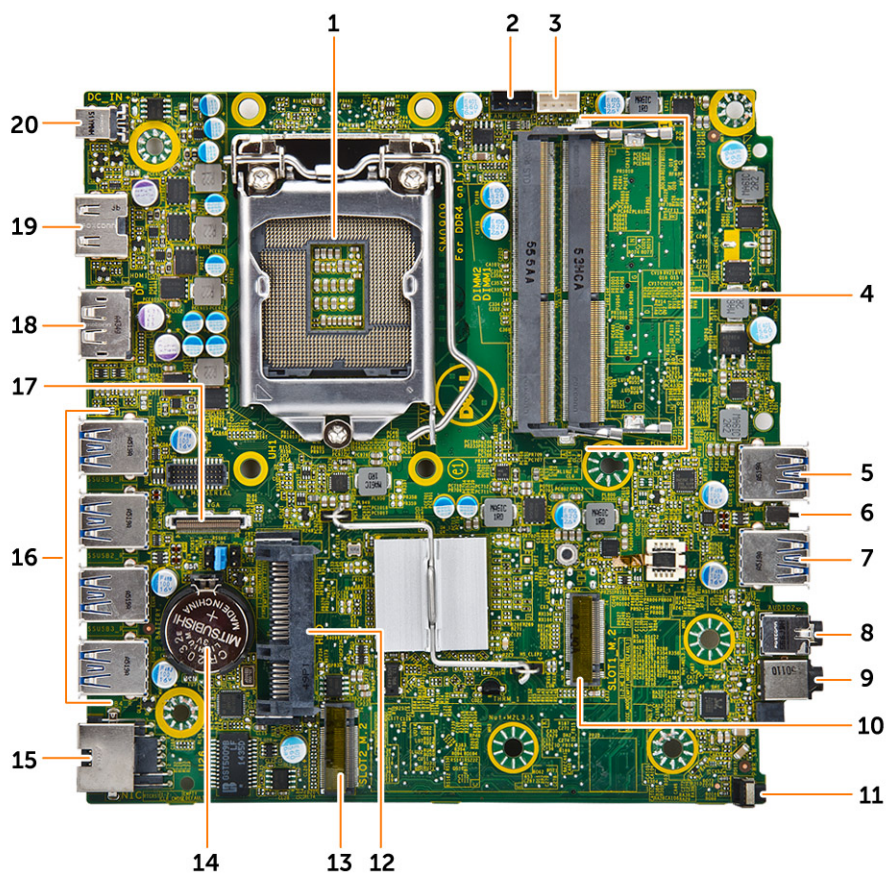
4. システム基板を取り外すには、次の手順を実行します。
  - a. システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. システム基板をスライドさせてコネクタをコンピュータの背面から外します [2]。
  - c. システム基板を持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。



## システム基板の取り付け

1. システム基板の両端をつかみ、コンピュータの背面に向けて傾けます。
2. システム基板の背面にあるコネクタがコンピュータの後壁にあるスロットと揃い、システム基板のネジ穴がコンピュータの突起と揃うまで、システム基板をコンピュータに下ろします。
3. ネジを締めてシステム基板をコンピュータに固定します。
4. 金属製のタブをシステム基板にセットして、ネジを締めて金属製のタブをシステム基板に固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [プロセッサ](#)
  - b. [ヒートシンク](#)
  - c. [システムファン](#)
  - d. [VGA ボード](#)
  - e. [ハードドライブアセンブリ](#)
  - f. [カバー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。


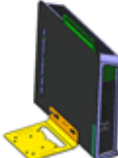
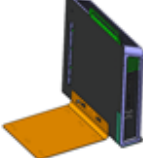

## システム基板のレイアウト



- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. プロセッサ               | 2. CPU ファンコネクタ       |
| 3. 内蔵スピーカーコネクタ         | 4. メモリモジュールコネクタ      |
| 5. USB 3.0 コネクタ        | 6. インテルーションスイッチ      |
| 7. USB 3.0 コネクタ        | 8. ライン出力コネクタ         |
| 9. ユニバーサルオーディオジャック     | 10. M.2 ソケット 1 コネクタ  |
| 11. 電源スイッチ             | 12. ハードドライブコネクタ      |
| 13. M.2 ソケット 3 コネクタ    | 14. コイン型電池           |
| 15. RJ-45 イーサネットコネクタ   | 16. USB 3.0 コネクタ     |
| 17. DP/VGA ドーターボードコネクタ | 18. DisplayPort コネクタ |
| 19. HDMI コネクタ          | 20. DC 入力ジャック        |

# 互換性のあるモニターモデルのリスト

表 1. E プレート、PUZ プレート、および U プレートのモデル

モニターマウントの背面			E シリーズのモニターマウント	非対応
				
E1715S	P1914S	E プレート / PUZ プレート ディスプレイと互換性のない すべてのモニターモデルをサポート します。	E1916H	S2240T
E1914H	P2014H		E1916HV	P2314T
E2014H	P2016		E2016H	P2714T
E2015Hv	P2214H		E2016HV	
E2214H / E2214Hv	P2314H		E2016	
E2215Hv	P2414H		E2216H	
E2314H	P2415Q		E2216HV	
E2414H	P2416D		E2316H	
E2715H	P2714H		E2416H	
E1916H	P2715Q			
E1916HV	P2815Q			
E2016H	P1917S			
E2016HV	P2017H			
E2016	P2217H			
E2216H	P2217			
E2216HV	P2317H			
E2316H	P2417H			
E2416H	P2717H			
	S2415H			
	S2715H			
	U2414H			

---

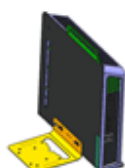
モニターマウントの背面

E シリーズのモニターマウント

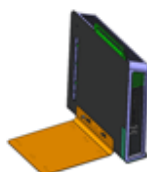
非対応



E Plate



PUZ Plate



U Plate



- 
- U2416Wi
  - U2417HJ
  - U2417HWi
  - U3415W
  - UP2414Q
  - UP2715K
  - UP3214Q
  - UP3216Q
  - UZ2215H
  - UZ2315H
  - UZ2715H
  - UP2516D
  - UP2716D
  - U2417H
  - U2717D
  - U2917W
  - UP3017
  - U3417W

# コンピュータのトラブルシューティング

診断ライト、ビープコード、およびエラーメッセージなどのインジケータを使って、コンピュータの操作中にトラブルシューティングを行うことができます。

## 診断電源 LED コード

表 2. 診断電源 LED コード

電源 LED ライトステータス	考えられる原因	トラブルシューティングの手順
オフ	コンピュータの電源が切れている、コンピュータに電力が供給されていない、あるいは休止状態モードです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントにしっかりと取り付け直します。</li> <li>コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され、オンになっていることを確認します。また、電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルを使用しなくても、コンピュータに正しく電源が入ることを確認します。</li> <li>電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能していることを確認します。</li> </ul>
橙色の点灯 / 点滅	コンピュータは POST を終了できないか、またはプロセッサに障害が発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのカードを取り外して、もう一度取り付けます。</li> <li>グラフィックスカードを取り付けている場合は、取り外して、もう一度取り付けます。</li> <li>電源ケーブルがシステム基板とプロセッサに接続されていることを確認します。</li> </ul>
白色のライトがゆっくり点滅	コンピュータはスリープモードになっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ボタンを押して、コンピュータをスリープモードから移行させます。</li> <li>すべての電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されていることを確認します。</li> <li>主電源ケーブルと前面パネルケーブルがシステム基板に接続されていることを確認します。</li> </ul>
白色の点灯	コンピュータは十分に機能しており、オンの状態です。	<p>コンピュータが応答しない場合は、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイが接続されていること、電源が入っていることを確認します。</li> <li>ディスプレイが接続され、電源が入っている場合、ビープコードを聞いて確認します。</li> </ul>

# 診断エラーメッセージ

表 3. 診断エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
AUXILIARY DEVICE FAILURE (補助デバイス障害)	タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスの場合、ケーブル接続を確認してください。セットアップユーティリティプログラムで <b>Pointing Device (ポインティングデバイス)</b> オプションを有効にしてください。
BAD COMMAND OR FILE NAME (コマンド名またはファイル名が正しくありません)	コマンドのスペルは正しいか、空白の位置は正しいか、パス名は正しいかを確認してください。
CACHE DISABLED DUE TO FAILURE (障害によりキャッシュが無効になりました)	マイクロプロセッサ内蔵の1次キャッシュに障害が発生しました。 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
CD DRIVE CONTROLLER FAILURE (CD ドライブコントローラ障害)	コンピュータからのコマンドに光学ドライブが応答しません。
Data Error (データエラー)	ハードドライブからデータを読むことができません。
DECREASING AVAILABLE MEMORY (使用可能なメモリが減少しています)	1つ以上のメモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば、交換します。
Disk C: failed initialization (ディスク C: の初期化に失敗しました)	ハードドライブの初期化に失敗しました。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> でハードドライブのテストを実行してください。
DRIVE NOT READY (ドライブの準備ができていません)	操作を続けるにはベイにハードドライブが必要です。ハードドライブをハードドライブベイに取り付けてください。
ERROR READING PCMCIA CARD (PCMCIA カードの読み取りエラー)	コンピュータは ExpressCard を識別できません。カードを入れ直すか、別のカードを試してみてください。
EXTENDED MEMORY SIZE HAS CHANGED (拡張メモリの容量が変更されています)	不揮発性メモリ (NVRAM) に記録されているメモリ容量がコンピュータに取り付けられているメモリモジュールと一致しません。コンピュータを再起動してください。エラーが再度表示される場合は、 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
THE FILE BEING COPIED IS TOO LARGE FOR THE DESTINATION DRIVE (コピーするファイルはコピー先のドライブには大きすぎます)	コピーしようとしているファイルが大きすぎてディスクに収まらないか、またはディスクが満杯の状態です。別のディスクにコピーするか、または容量のより大きなディスクを使用してください。
A FILENAME CANNOT CONTAIN ANY OF THE FOLLOWING CHARACTERS: \ / : * ? " < >   - (次の文字はファイル名に使用できません: \ / : * ? " < >   -)	これらの文字をファイル名に使用しないでください。
GATE A20 FAILURE (ゲート A20 障害)	メモリモジュールがしっかりと装着されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
GENERAL FAILURE (一般的な障害)	オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常では、Printer out of paper (プリンターの用紙がありません) のように、問題を特定するメッセージが続けて表示されますので、適切な対応を取ってください。
HARD-DISK DRIVE CONFIGURATION ERROR (ハードディスクドライブ設定エラー)	コンピュータがドライブのタイプを識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、光学ドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドラ

エラーメッセージ	説明
HARD-DISK DRIVE CONTROLLER FAILURE 0 (ハードディスクドライブコントローラー障害 0)	ドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ)</b> のテストを実行してください。
HARD-DISK DRIVE FAILURE (ハードディスクドライブ障害)	ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、オプティカルドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は、別のドライブをお試しください。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ)</b> のテストを実行してください。
HARD-DISK DRIVE READ FAILURE (ハードディスクドライブ読み取り障害)	ハードドライブに欠陥がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して、オプティカルドライブからコンピュータを起動してください。続いて、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Hard Disk Drive (ハードディスクドライブ)</b> のテストを実行してください。
INSERT BOOTABLE MEDIA (起動可能メディアの挿入)	オペレーティングシステムは、オプティカルドライブなどの起動できないメディアで起動しようとしています。起動可能なメディアを挿入してください。
INVALID CONFIGURATION INFORMATION-PLEASE RUN SYSTEM SETUP PROGRAM (無効な設定情報 - セットアップユーティリティを実行してください)	システムの設定情報はハードウェアの構成と一致していません。このエラーが発生する可能性が最も高いのは、メモリモジュールを取り付けた後です。セットアップユーティリティでオプションを適切に修正してください。
KEYBOARD CLOCK LINE FAILURE (キーボードクロックライン障害)	外付けキーボードの場合、ケーブル接続を確認してください。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Keyboard Controller (キーボードコントローラ)</b> のテストを実行してください。
KEYBOARD CONTROLLER FAILURE (キーボードコントローラー障害)	外付けキーボードの場合、ケーブル接続を確認してください。コンピュータを再起動します。起動中にはキーボードやマウスに触れないでください。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Keyboard Controller (キーボードコントローラ)</b> のテストを実行してください。
KEYBOARD DATA LINE FAILURE (キーボードデータライン障害)	外付けキーボードの場合、ケーブル接続を確認してください。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Keyboard Controller (キーボードコントローラ)</b> のテストを実行してください。
KEYBOARD STUCK KEY FAILURE (キーボードスタックキー障害)	外付けキーボードや外付けキーパッドの場合、ケーブル接続を確認してください。コンピュータを再起動します。起動中にはキーボードやキーに触れないでください。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>Stuck Key (スタックキー)</b> のテストを実行してください。
LICENSED CONTENT IS NOT ACCESSIBLE IN MEDIADIRECT (MediaDirect ではライセンスコンテンツにアクセスできません)	Dell MediaDirect では、そのファイルのデジタル権限管理 ( DRM ) 制限が検証できないので、そのファイルは再生できません。

エラーメッセージ	説明
MEMORY ADDRESS LINE FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
MEMORY ALLOCATION ERROR (メモリ割り当てエラー)	実行しようとしているソフトウェアは、オペレーティングシステム、ほかのプログラムやユーティリティと競合しています。コンピュータをシャットダウンして、30 秒後に再起動してください。プログラムを再度実行してみます。エラーメッセージがまだ表示される場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
MEMORY DOUBLE WORD LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
MEMORY ODD/EVEN LOGIC FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
MEMORY WRITE/READ FAILURE AT ADDRESS, READ VALUE EXPECTING VALUE	メモリモジュールが故障しているか、適切に取り付けられていません。メモリモジュールを取り付け直し、必要があれば交換します。
NO BOOT DEVICE AVAILABLE (起動デバイスがありません)	コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが取り付けられて適切に設置されていること、および起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認してください。
NO BOOT SECTOR ON HARD DRIVE (ハードドライブに起動セクターがありません)	オペレーティングシステムが破損している可能性があります。 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
NO TIMER TICK INTERRUPT (タイマーティック割り込み信号がありません)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>System Set (システムセット)</b> のテストを実行してください。
NOT ENOUGH MEMORY OR RESOURCES. EXIT SOME PROGRAMS AND TRY AGAIN (メモリまたはリソースが不足しています。プログラムをいくつか終了して、もう一度試してみてください)	起動しているプログラムが多すぎます。すべてのウィンドウを閉じて、使用したいプログラムを起動してください。
OPERATING SYSTEM NOT FOUND (オペレーティングシステムが見つかりません)	オペレーティングシステムを取り付け直します。問題が解決しない場合は、 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
OPTIONAL ROM BAD CHECKSUM (オプション ROM のチェックサムが正しくありません)	オプション ROM に障害が発生しました。 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
SECTOR NOT FOUND (セクターが見つかりません)	オペレーティングシステムがハードドライブ上でセクターの位置を確認できません。ハードドライブに欠陥があるセクターがあるか、破損した FAT がある可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を確認してください。手順については、 <b>Windows ヘルプとサポート (Start (スタート) → Help and Support (ヘルプとサポート))</b> の順にクリック) を参照してください。欠陥があるセクターが多数ある場合は、(可能ならば) データをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットしてください。
SEEK ERROR (シークエラー)	オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。
SHUTDOWN FAILURE (シャットダウン障害)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>System Set (システムセット)</b> のテストを実行してください。メッセージが再び表示される場合は、 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。

エラーメッセージ	説明
TIME-OF-DAY CLOCK LOST POWER (時刻クロックの電源損失)	システム構成の設定が破損しています。お使いのコンピュータをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。問題が解決しない場合、セットアップユーティリティプログラムを起動して、データを復元してみてください。その後すぐにプログラムを終了します。メッセージが再び表示される場合は、 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
TIME-OF-DAY CLOCK STOPPED (時刻クロックの停止)	システム構成の設定に対応している予備バッテリーを再充電する必要がある可能性があります。お使いのコンピュータをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。問題が解決しない場合は、 <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
TIME-OF-DAY NOT SET-PLEASE RUN THE SYSTEM SETUP PROGRAM (時刻が設定されていません - セットアップユーティリティを実行してください)	セットアップユーティリティに保存されている時刻または日付がシステムクロックと一致しません。 <b>Date and Time (時刻と日付)</b> オプションの設定を修正してください。
TIMER CHIP COUNTER 2 FAILED (タイマーチップカウンター 2 障害)	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>System Set (システムセット)</b> のテストを実行してください。
UNEXPECTED INTERRUPT IN PROTECTED MODE (保護モードで想定外の割り込みがありました)	キーボードコントローラーが誤動作しているか、またはメモリモジュールがしっかりと装着されていない可能性があります。 <b>Dell Diagnostics (診断)</b> で <b>System Memory (システムメモリ)</b> のテストと <b>Keyboard Controller (キーボードコントローラ)</b> のテストを実行するか、または <a href="#">デルにお問い合わせください</a> 。
X:\ IS NOT ACCESSIBLE. THE DEVICE IS NOT READY (X:\ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません)	ドライブにディスクを入れて、もう一度試してみてください。

## システムエラーメッセージ

表 4. システムエラーメッセージ

システムメッセージ	説明
Alert! Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [nnnn]. For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support (警告: このシステムの前回の起動時にチェックポイント [nnnn] で障害が発生しました。この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問い合わせください)	同じエラーによって、コンピュータは 3 回連続して起動ルーチンを終了できませんでした。
CMOS checksum error (CMOS チェックサムエラー)	RTC がリセットされ、 <b>BIOS セットアップ</b> のデフォルトがロードされています。
CPU fan failure (CPU ファン障害)	CPU ファンに障害が発生しました。
System fan failure (システムファン障害)	システムファンに障害が発生しました。
Hard-disk drive failure (ハードディスクドライブ障害)	POST 中にハードディスクドライブに障害が発生した可能性があります。
Keyboard failure (キーボード障害)	キーボードに障害が発生したか、またはケーブルがしっかりと接続されていません。ケーブルをつなぎ直しても問題が解決しない場合はキーボードを交換してください。



システムメッセージ	説明
No boot device available (起動デバイスがありません)	<p>ハードディスクドライブ上に起動可能なパーティションが存在しないか、ハードドライブケーブルがしっかりと接続されていないか、または起動可能なデバイスが存在しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルが接続されていること、およびドライブが適切に取り付けられ、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。</li> <li>セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいことを確認します。</li> </ul>
No timer tick interrupt (タイマーティック割り込み信号がありません)	システム基板上のチップが誤動作しているか、またはマザーボードに障害が発生している可能性があります。
<p>NOTICE - Hard Drive SELF MONITORING SYSTEM has reported that a parameter has exceeded its normal operating range. Dell recommends that you back up your data regularly. A parameter out of range may or may not indicate a potential hard drive problem (注意 - ハードドライブの自己監視システムに、パラメーターが通常の動作範囲を超えていることがレポートされています。デルではデータを定期的にバックアップすることをお勧めしています。パラメーターが範囲を超えていても、ハードドライブに潜在的な問題がある場合とそうでない場合があります。)</p>	S.M.A.R.T エラー、ハードディスクドライブに障害の可能性があります。

# セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでコンピュータのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。セットアップユーティリティから実行できる操作は次のとおりです。

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

## 起動順序

起動順序では、セットアップユーティリティで定義された起動デバイスの順序をバイパスし、特定のデバイス（例：オプティカルドライブやハードドライブ）から直接起動することができます。パワーオンセルフテスト（POST）中にデルのロゴが表示されたら、以下の操作が可能です。

- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
  - ☑ **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
  - ☑ **メモ:** Diagnostics（診断）を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。


起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

## ナビゲーションキー

☑ **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
Tab	次のフォーカス対象領域に移動します。

## キー ナビゲーション

 **メモ:** 標準グラフィックブラウザ用に限られます。

<Esc> メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押し、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

F1 System Setup ( セットアップユーティリティ ) のヘルプファイルを表示します。

## セットアップユーティリティの概要

セットアップユーティリティでは次のことができます。

- お使いのコンピュータのハードウェアを追加、変更、または取り外した後でシステムの構成情報を変更する。
- ユーザーパスワードなど、ユーザーが選択できるオプションを設定または変更する。
- 現在のメモリの容量を読み取る、または取り付けられているハードドライブのタイプを設定する。


セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティの画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

 **注意:** 上級コンピュータユーザーでなければ、このプログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

## セットアップユーティリティへのアクセス

1. コンピューターの電源を入れます ( または再起動します ) 。
2. 白い Dell のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

セットアップユーティリティページが表示されます。

 **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。次に、コンピュータをシャットダウンするか、または再起動して、もう一度お試しください。

 **メモ:** Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、BIOS セットアップを選択することもできます。

## セットアップユーティリティのオプション




 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

表 5. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• システム情報 : BIOS バージョン、サービスタグ、アセットタグ、購入日、製造日、エクスプレスサービスコードを表示します。</li><li>• メモリ情報 : 搭載メモリ、使用可能メモリ、メモリ速度、メモリチャネルモード、メモリテクノロジー、DIMM 1 サイズ、DIMM 2 サイズを表示します。</li><li>• PCI 情報 : SLOT1、SLOT2 を表示します。</li><li>• プロセッサ情報 : プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック スピード、最小クロック スピード、最大クロック スピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。</li><li>• デバイス 情報 : SATA-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラ、オーディオコントローラ、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスを表示します。</li></ul>
起動順序	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Legacy ( レガシー )</li></ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>UEFI</li> </ul>
Advanced Boot Options	UEFI 起動モードのときに、Enable Legacy Option ROMs ( レガシーオプション ROM を有効にする ) オプションを選択できます。このオプションはデフォルトで有効になっています。
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

表 6. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	<p>オンボード LAN コントローラを制御できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効</li> <li>有効</li> <li>Enabled w/PXE ( PXE で有効 ) ( デフォルト )</li> <li>Enabled w/Cloud Desktop ( クラウドデスクトップで有効 )</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。</p>
WIDI	<p>Wi-Fi でディスプレイに接続することができます。WIDI はディスプレイ ( または WIDI 対応ディスプレイ ) に Intel Wi-Fi カード、Intel グラフィックス、WIDI レシーバが必要です。WIDI アプリケーションをインストールするには、<a href="http://dell.com/support">dell.com/support</a> のサイトを参照して、WIDI アプリケーションをダウンロードしてください。</p> <p> <b>メモ:</b> WIDI アプリケーションのインストール時に、ディスプレイを Intel オンボードグラフィック出力に接続します。</p>
SATA Operation	<p>統合ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Disabled ( 無効 ) = SATA コントローラは非表示</li> <li>ATA = SATA は ATA モード用に構成済み</li> <li>RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするよう設定済み</li> </ul>
Drives	<p>各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SATA-0 ( デフォルトで有効 )</li> </ul>
Smart Reporting	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
USB 設定	<p>以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Boot Support ( 起動サポートを有効にする )</li> <li>Enable Front USB Ports ( 前面 USB ポートを有効にする )</li> <li>Enable Rear USB Ports ( 背面 USB ポートを有効にする )</li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
Front USB Configuration	<p>前面 USB ポートを有効または無効にすることができます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Back USB Configuration	<p>背面 USB ポートを有効または無効に設定できます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。</p>
USB PowerShare	<p>このオプションで、携帯電話や音楽プレーヤなどの外付けデバイスを充電することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
オーディオ	<p>内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Microphone ( マイクを有効にする )</li> <li>Enable Internal Speaker ( 内蔵スピーカーを有効にする )</li> </ul>

オプション	説明
	両方のオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Miscellaneous Devices	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Media Card (メディアカードを有効にする) (デフォルトオプション)</li> <li>• Disable Media Card (メディアカードを無効にする)</li> </ul>

表 7. ビデオ



オプション	説明
Primary Display	<p>複数のコントローラがシステムで利用可能なときに、プライマリディスプレイを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• Intel HD グラフィックス</li> </ul> <p> <b>メモ: Auto (自動) を選択しない場合は、オンボードグラフィックスデバイスが存在し、有効に設定されます。</b></p>

表 8. セキュリティ

オプション	説明
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。
Password Bypass	<p>このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> <li>• Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート)。</li> </ul> <p> <b>メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。</b></p>
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。</p> <p><b>Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可)</b> - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
TPM 2.0 Security	<p>TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TPM On (デフォルト)</li> <li>• Clear (クリア)</li> <li>• 有効なコマンドの PPI をスキップ</li> <li>• 有効な証明書 (デフォルト)</li> <li>• 無効なコマンドの PPI をスキップ</li> <li>• 有効なキーストレージ (デフォルト)</li> <li>• SHA-256 (デフォルト)</li> <li>• 無効</li> <li>• Enabled (有効) (デフォルト)</li> </ul>

オプション	説明
Computrace	<p>オプションの Absolute Software 社製 Computrace サービスの BIOS モジュールインタフェースをアクティブまたは無効に設定することができます。資産管理用に設計されているオプションの Computrace サービスを有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Deactivate (非アクティブ)</b> - このオプションはデフォルトで無効に設定されています</li> <li>• Disable (無効)</li> <li>• Activate (アクティブ)</li> </ul>
Chassis Intrusion	<p>シャーシイントルージョン機能を制御できます。以下のオプションから選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable (有効)</li> <li>• Disable (無効)</li> <li>• <b>On-Silent (オンサイレント)</b> — シャーシイントルージョンが検出されると、デフォルトで有効に設定されます</li> </ul>
CPU XD Support	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効または無効にすることができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
OROM Keyboard Access	<p>このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。この設定により Intel RAID (CTRL+I) または Intel Management Engine BIOS Extension (CTRL+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable (有効)</b> — ユーザーはホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できます。</li> <li>• <b>One-Time Enable (1 回限り有効)</b> — ユーザーは、次の起動時のみ、ホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できます。次の起動後に設定が無効に戻ります。</li> <li>• <b>Disable (無効)</b> — ユーザーはホットキーを使用して [OROM configuration] 画面を表示できません。</li> </ul> <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Admin Setup Lockout	<p>管理者パスワードが設定されている場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効にすることができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
HDD Protection Support	<p>HDD 保護機能を有効または無効にすることができます。このオプションは、HDD データの安全性と不変性を維持することを目的とした高度な機能です。このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>

表 9. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	<p>安全起動機能を有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disable (無効)</li> <li>• Enable (有効)</li> </ul>
Expert key Management	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。<b>Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする)</b> オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PK</li> <li>• KEK</li> <li>• db</li> <li>• dbx</li> </ul> <p><b>Custom Mode (カスタムモード)</b> を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Save to File (ファイルに保存)</b> - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。</li> <li>• <b>Replace from File (ファイルから交換)</b> - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。</li> <li>• <b>Append from File (ファイルから追加)</b> - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。</li> </ul>


オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Delete (削除)</b> - 選択したキーを削除します。</li> <li>• <b>Reset All Keys (すべてのキーをリセット)</b> - デフォルト設定にリセットします。</li> <li>• <b>Delete All Keys (すべてのキーを削除)</b> - すべてのキーを削除します。</li> </ul> <p> <b>メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</b></p>


表 10. Intel ソフトウェアガードエクステンション

オプション	説明
Intel SGX Enable	<p>Intel ソフトウェアガードエクステンションを有効または無効に設定して、メインオペレーティングシステムのコンテキストでコードを実行する / 機密情報を保存するための安全な環境を提供できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効) (デフォルト)</li> <li>• 有効</li> </ul>
Enclave Memory Size	<p>Intel SGX エンクレイブリザーブメモリサイズを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 32 MB</li> <li>• 64 MB</li> <li>• 128 MB</li> </ul>

表 11. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドでは、プロセスが 1 つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Intel SpeedStep	プロセッサの Intel SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
C States Control	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Limited CPUID Value	プロセッサ標準 CPUID 機能の最大値を制限することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。

表 12. 電源管理

オプション	説明
AC Recovery	<p>電力損失の後、AC 電源を回復した場合のシステムの対応を決定します。AC リカバリは次のいずれかに設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源オフ</li> <li>• 電源を入れる</li> <li>• Last Power State (直前の電源状態)</li> </ul> <p>このオプションはデフォルトで Power Off (電源オフ) に設定されています。</p>
Auto On Time	<p>コンピュータに自動的に電源を入れる時刻を設定します。時刻は標準の 12 時間形式 (時間 : 分 : 秒) です。時刻と AM/PM のフィールドに値を入力して、起動時刻を変更します。</p> <p> <b>メモ: この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクタでコンピュータの電源をオフにした場合、または Auto Power (自動電源) が無効に設定されている場合は動作しません。</b></p>
Deep Sleep Control	ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>無効</li> <li>Enabled in S5 only ( S5 のみで有効 )</li> <li>Enabled in S4 and S5 ( S4 と S5 で有効 )</li> </ul> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
USB Wake Support	USB デバイスでコンピュータを待機状態からウェイクさせることができます。
Wake on LAN/WWAN	<p>このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガすることで、コンピュータの電源をオフ状態からオンにすることができます。この機能は、コンピュータが AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disabled (無効)</b> — LAN またはワイヤレス LAN からウェークアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。</li> <li><b>LAN or WLAN (LAN または WLAN)</b> — 特殊な LAN 信号または無線 LAN 信号によりシステムの電源がオンになります。</li> <li><b>LAN Only (LAN のみ)</b> — 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> <li><b>LAN with PXE Boot (PXE 起動を伴う LAN)</b> — S4 または S5 状態のシステムに送られるウェークアップパケットは、システムが起動してすぐに PXE を起動するようになります。</li> <li><b>WLAN Only (WLAN のみ)</b> — 特殊な WLAN 信号によりシステムに電源を投入することができます。</li> </ul> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
Block Sleep	OS の環境でスリープ ( S3 ステート ) に入るのをブロックすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Intel Ready Mode	Intel Ready Mode テクノロジーの機能を有効にすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 13. POST 動作

オプション	説明
Adapter Warning	特定の電源アダプタを使用するときに、システムが警告メッセージを表示するかどうかを選択することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Numlock LED	コンピュータの起動時に、Numlock 機能を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
MEBx Hotkey	システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Keyboard Errors	コンピュータの起動時に、キーボードエラーのレポートを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Fast Boot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップするオプションです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Minimal ( 最小 ) — BIOS が更新されたり、メモリが変更されたり、または以前の POST が完了していない限り、システムは高速で起動します。</li> <li>Thorough ( 完全 ) — システムは、起動プロセスの手順をスキップしません。</li> <li>Auto ( 自動 ) — オペレーティングシステムでこの設定をコントロールできるようになります ( オペレーティングシステムが Simple Boot Flag ( シンプル起動フラグ ) をサポートしている場合のみ、有効です )。</li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで <b>Thorough (完全)</b> に設定されています。</p>

表 14. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	このオプションでは、Intel® バーチャライゼーションテクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。 <b>Enable Intel Virtualization</b>



オプション	説明
	<b>Technology (Intel バーチャライゼーションテクノロジーを有効にする)</b> - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
VT for Direct I/O	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター ( VMM ) が利用するかどうかを指定します。 <b>Enable Intel Virtualization Technology for Direct I/O</b> ( Direct I/O 用 Intel Virtualization Technology を有効にする ) - このオプションはデフォルトでは無効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM ( Measured Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 15. Wireless (ワイヤレス)

オプション	説明
Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

表 16. メンテナンス


オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SERR Messages	SERR Message メカニズムを制御します。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。SERR Message メカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。
BIOS Downgrade	前のバージョンへのシステムファームウェアのフラッシングを制御することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。  <b>メモ:</b> このオプションが選択されていない場合は、前のバージョンへのシステムファームウェアのフラッシングはブロックされます。
Data Wipe	HDD、SSD、mSATA、および eMMC などの使用可能なすべての内部ストレージからデータを安全に消去することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
BIOS recovery	プライマリハードドライブまたは外部 USB キーのリカバリファイルから、破損状態の BIOS をリカバリできます。

表 17. クラウドデスクトップ

オプション	説明
Server Lookup Method	クラウドデスクトップソフトウェアによるサーバーアドレスの検索方法を指定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>静的</li> <li>DNS ( デフォルト )</li> </ul>
Server Name	サーバーの名前を指定することができます。
Server IP Address	クラウドデスクトップサーバの主要な静的 IP アドレスを指定します。デフォルト IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Server port	クラウドデスクトップのプライマリポートを指定します。デフォルト設定は 06910 です。
Client Address Method	クライアントによる IP アドレスの入手方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Static IP ( 静的 IP )</li> <li>DHCP ( デフォルト )</li> </ul>
Client IP address	クライアントの静的 IP アドレスを指定します。デフォルト IP アドレスは 255.255.255.255 です。

オプション	説明
Client Subnet Mask	クライアントのサブネットマスクアドレスを指定します。デフォルト IP アドレスは 255.255.255.255 です。
Client Gateway	クライアントのゲートウェイアドレスを指定します。デフォルト IP アドレスは 255.255.255.255 です。
DNS IP Address	クライアントの DNS IP アドレスを指定します。デフォルト IP アドレスは 255.255.255.255 です。
ドメイン名	クライアントのドメイン名を指定します。
詳細	アドバンスドデバッグの冗長モードをオンにすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 18. システムログ



オプション	説明
BIOS Events	システムイベントログが表示され、ユーザーは次の操作を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ログを消去</li> <li>Mark all Entries (すべてのエントリにマークを付ける)</li> </ul>

表 19. 詳細設定


オプション	説明
ASPM	電源管理をアクティブにすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Auto (自動) (デフォルト)</li> <li>無効</li> <li>L1 Only (L1のみ)</li> </ul>

## BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、お使いの BIOS (セットアップユーティリティ) のアップデートを推奨しています。ラップトップの場合、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータを再起動します。
2. [Dell.com/support](http://Dell.com/support) にアクセスしてください。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグを見つけられない場合は、**Detect My Product (製品の検出)** をクリックします。画面上の説明に進みます。
4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。  
Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード) ページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム**ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。  
アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates (アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面の指示に従います。
10. **ダウンロード方法を以下から選択してください** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。  
**ファイルのダウンロード**ウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。

12. **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。

 **メモ:** BIOS のバージョンを 3 つを超えるリビジョンにアップデートしないことをお勧めします。例 : BIOS を 1.0 から 7.0 にアップデートする場合は、まずバージョン 4.0 をインストールしてからバージョン 7.0 をインストールします。


## システムパスワードおよびセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。


### パスワードの種類 説明

**システムパスワード** システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

**セットアップパスワード** お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。


 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

### システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しい**システムパスワード**や**セットアップパスワード**の設定、または既存の**システムパスワード**や**セットアップパスワード**の変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. **システム BIOS** 画面または**セットアップユーティリティ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で **パスワードステータス**が **ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
  - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です : スペース、( " ) ( + ) ( , ) ( - ) ( . ) ( / ) ( ; ) ( [ ) ( \ ) ( ] ) ( ` )


プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。

4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
5. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。  
コンピュータが再起動します。

## 既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に **Password Status** (パスワードステータス) がロック解除 (システムセットアップで) になっていることを確認します。 **Password Status** (パスワードステータス) がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. **システム BIOS** 画面または**セットアップユーティリティ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password** (システムパスワード) を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password** (セットアップパスワード) を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。  
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。  
コンピュータが再起動します。

# 仕様

 **メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細は：




- Windows 10 の場合は、**スタート**  → **設定** → **システム** → **バージョン情報** の順にクリックまたはタップします。
- Windows 8.1 および Windows 8 の場合は、**スタート**  → **PC 設定** → **PC とデバイス** → **PC 情報** の順にクリックまたはタップします。
- Windows 7 の場合は、**スタート**  をクリックして **マイコンピュータ** を右クリックし、**プロパティ** を選択します。

表 20. プロセッサ

特長	仕様
プロセッサの種類	第 6 世代 Intel Core i3/i5/i7 シリーズ
キャッシュ合計	プロセッサのタイプに応じて最大 8 MB キャッシュ

表 21. メモリ

特長	仕様
メモリのタイプ	DDR4
メモリ速度	2133 MHz
メモリコネクタ	SoDIMM スロット ( 2 )
メモリ容量	4 GB、8 GB、および 16 GB
最小メモリ	4 GB  <b>メモ:</b> 最小メモリは、コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに応じて異なる場合があります。
最大メモリ	32 GB  <b>メモ:</b> 各メモリモジュールスロットは、最小で 4 GB、最大で 16 GB までサポートします。

表 22. ビデオ

特長	仕様
内蔵	Intel HD グラフィックス

表 23. オーディオ

特長	仕様
内蔵	Realtek HDA Codec ALC3234

表 24. ネットワーク

特長	仕様
内蔵	10/100/1000 通信に対応する Intel I219 LM Ethernet

表 25. システム情報

特長	仕様
システムチップセット	Intel Q170 チップセット

表 26. 拡張バス

特長	仕様
バスのタイプ	USB 2.0、USB 3.0、SATA 3、および PCIe Gen 3 まで
バス速度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• USB 2.0 – 480 Mbps</li> <li>• USB 3.0 – 5 Gbps</li> <li>• SATA 3.0 – 6 Gbps</li> <li>• PCIe – 8 Gbps</li> </ul>

表 27. カード

特長	仕様
WLAN カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Intel Dual Band Wireless-AC 8260 (M.2)</li> <li>• 802.11 ac</li> <li>• Bluetooth 4.1</li> <li>• WiDi (ワイヤレスディスプレイ)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> 最適なパフォーマンスを得るために、5 GHz 標準に対応するアクセスポイントでワイヤレスディスプレイ機能を使用することをお勧めします。</p>
SSD カード	M.2 22x80 socket 3 SSD ( 1 )

表 28. ドライブ

特長	仕様
内部アクセス用	2.5 インチ SATA ドライブベイ

表 29. 外付けコネクタ

特長	仕様
オーディオ	
前面パネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユニバーサルヘッドセット</li> <li>• ライン出力コネクタ</li> </ul>
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ
シリアル	PS2 およびシリアルコネクタ ( オプション )
USB 2.0 ( 前面 / 背面 / 内部 )	0/0/1
USB 3.0 ( 前面 / 背面 / 内部 )	2/4/0
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 15 ピン VGA コネクタ ( オプション )</li> </ul>

特長	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>20 ピン DisplayPort コネクタ ( 2 ) ( DisplayPort コネクタのいずれかはオプション )。</li> <li>19 ピン HDMI コネクタ</li> </ul>

 **メモ:** 使用可能なビデオコネクタは、選択されたオプションのグラフィックボードによって異なる場合があります。

表 30. コントロールとライト

特長	仕様
コンピュータの前面	
電源ボタンライト	白色のライト — 白色のライトの点灯は、電源オンの状態を示します。白色のゆっくりとした点滅は、コンピュータがスリープ状態であることを示します。
ドライブアクティビティライト	白色のライト — 白色のゆっくりとした点滅は、コンピュータがハードドライブからデータを読み取っている、またはハードドライブにデータを書き込んでいることを示します。
コンピュータの背面 :	
リンクインテグリティライト ( 内蔵ネットワークアダプタ上 )	<p>緑色 — ネットワークとコンピュータとの間で 10 Mbps の接続が確立されていることを示します。</p> <p>緑色 — ネットワークとコンピュータとの間で 100 Mbps の接続が確立されていることを示します。</p> <p>橙色 — ネットワークとコンピュータの間に 1000 Mbps の接続が確立されていることを示します。</p> <p>オフ ( 消灯 ) — コンピュータはネットワークに物理的に接続されていることを検出していません。</p>
ネットワーク動作ライト ( 内蔵ネットワークアダプタ上 )	黄色のライト — 黄色の点滅は、ネットワークが動作していることを示します。
電源ユニット診断ライト	緑色のライト — 電源が入っており、機能していることを示します。電源ケーブルは電源コネクタ ( コンピューターの背面 ) とコンセントに接続してください。

表 31. 電源

アイテム	ワット数	電圧
電源アダプタ	65 W	19.5 V DC、3.34 A
コイン型電池	3 V CR2032 リチウムコイン型セル	


表 32. 物理的寸法

寸法	Micro Premier
高さ	18.2 cm ( 7.2 インチ )
幅	3.6 cm ( 1.4 インチ )
奥行き	17.6 cm ( 7 インチ )
重量	1.41 kg ( 3.12 ポンド )

表 33. 環境

特長	仕様
温度範囲	
動作時	5 ~ 35°C ( 41 ~ 95°F )
非動作時	-40 ~ 65°C ( -40 ~ 149°F )
相対湿度 ( 最大 )	
動作時	20% ~ 80% ( 結露しないこと )
非動作時	5% ~ 95% ( 結露しないこと )
最大耐久震度	
動作時	0.66 Grms
非動作時	1.37 Grms
最大耐久衝撃	
動作時	40 G
非動作時	105 G
高度	
動作時	-15.2 ~ 3048 m ( -50 ~ 10,000 フィート )
非動作時	-15.20 ~ 10,668 m ( -50 ~ 35,000 フィート )
空気汚染物質レベル	G1、または ANSI/ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

## デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。